

大船渡湾内観測結果(No.6)

“今月の話題”

8月から水温上昇に伴い底層の溶存酸素量が低い状態が続いています。

水温が例年よりも高く、特に表層において顕著でした。

9月9日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

透明度を前年同月のものと比較すると、St.4を除いて前年同月よりも低くなり、特にSt.5で顕著でした(2018年9月:8.0m、2019年9月:5.0m)。

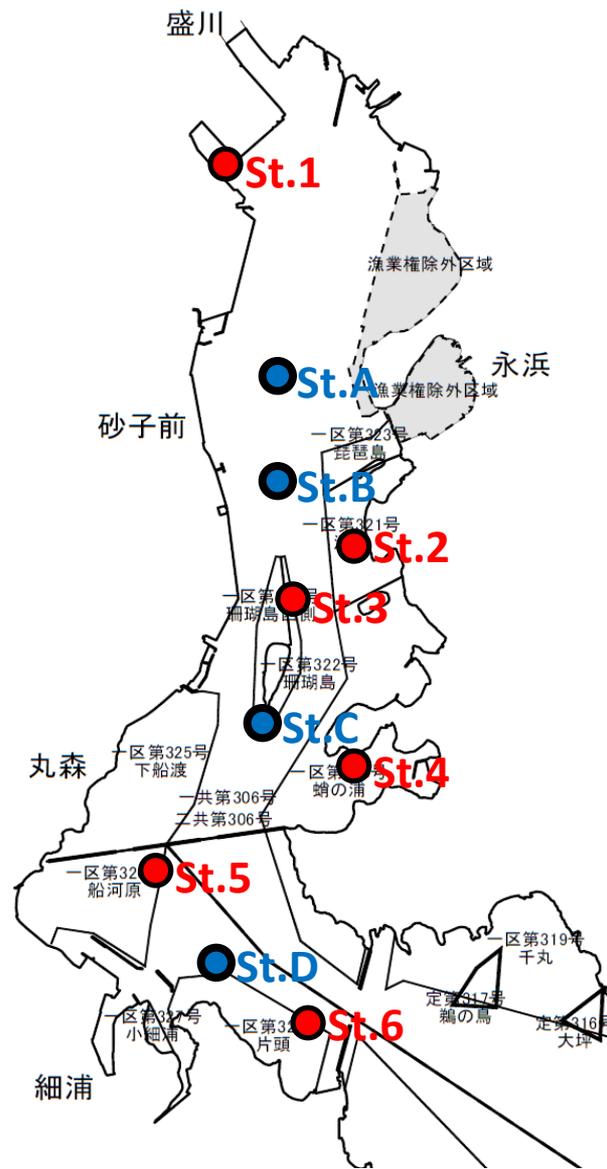
水温はSt.1から6の表層、10m層、深層の全てで例年よりも高くなりました。特に表層ではSt.3において5°C以上高くなりました。

St.1から6の全ての点で底層の酸素飽和度が8月を下回りました。St.6では飽和度が30%を下回りました。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		令和元年9月9日					
観測時刻		11:28	11:50	11:00	10:40	10:23	10:08
水深(m)		9.0	24.1	26.6	18.8	24.8	37.3
透明度(m)		2.0	4.0	3.5	6.0	5.0	4.0
水色		11	9	10	9	8	9
水温(°C)	表層	26.3	26.1	26.1	25.9	24.8	24.7
	水深5m	21.4	21.8	21.8	21.8	21.8	21.7
	水深10m	-	21.1	21.0	20.9	20.9	21.1
	底層	21.3	19.2	18.8	20.0	19.4	17.0
塩分	表層	26.9	27.8	27.1	28.7	28.7	29.7
	水深5m	33.2	33.4	33.4	33.4	33.4	33.4
	水深10m	-	33.6	33.6	33.6	33.6	33.6
	底層	33.4	33.7	33.7	33.7	33.7	33.9
溶存酸素飽和度(%)	表層	140.6	148.5	157.7	121.9	118.4	124.9
	水深5m	107.4	107.0	109.0	106.3	104.4	104.7
	水深10m	-	104.1	102.4	89.3	101.7	104.7
	底層	90.2	51.8	47.8	65.5	56.8	29.1

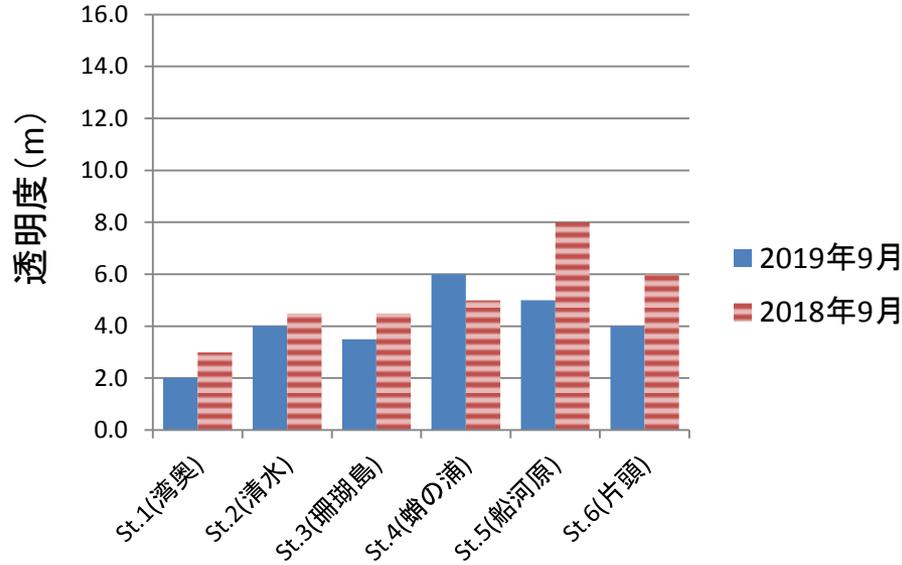


©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

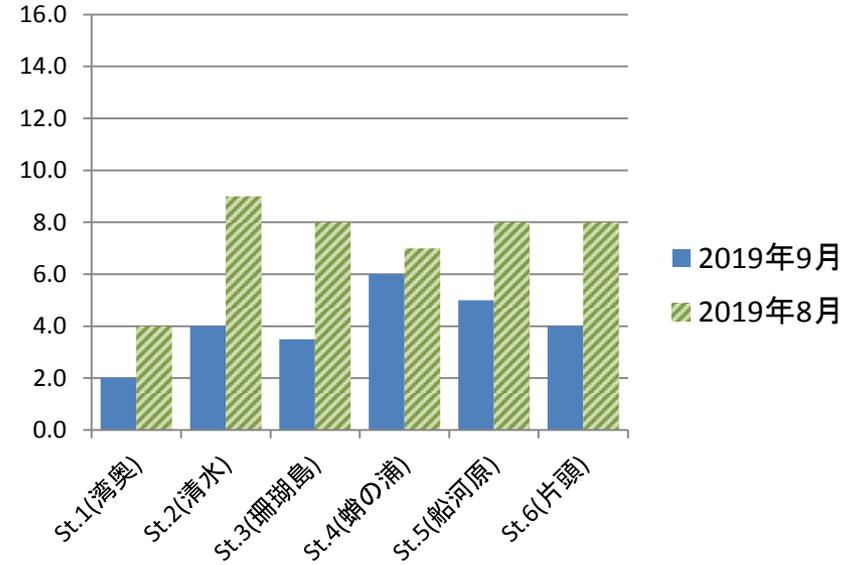
※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

前年同月との比較



- ・St.4を除き2018年より低い
- ・St.4が最も高い

前月との比較



- ・全点で前月より低い
- ・St.2で前月より著しく低下

図2 透明度の比較(前年同月、前月)

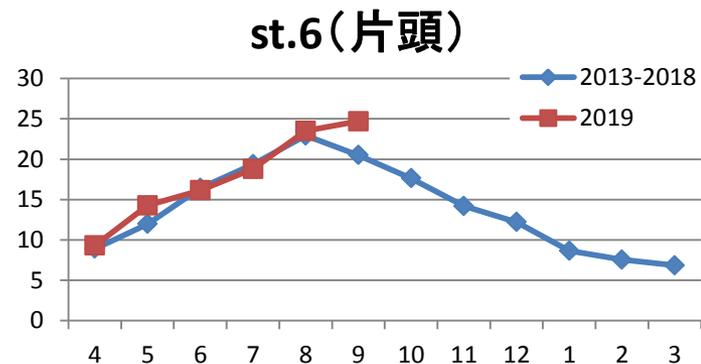
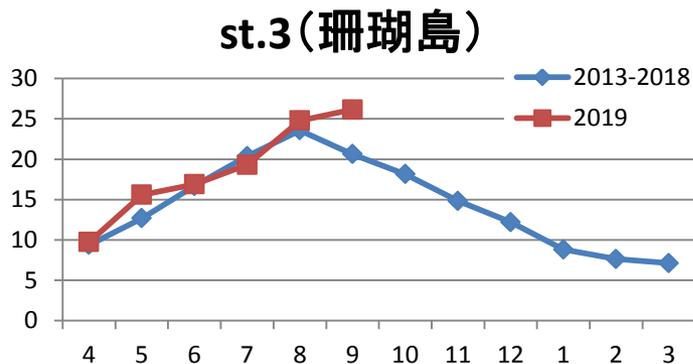
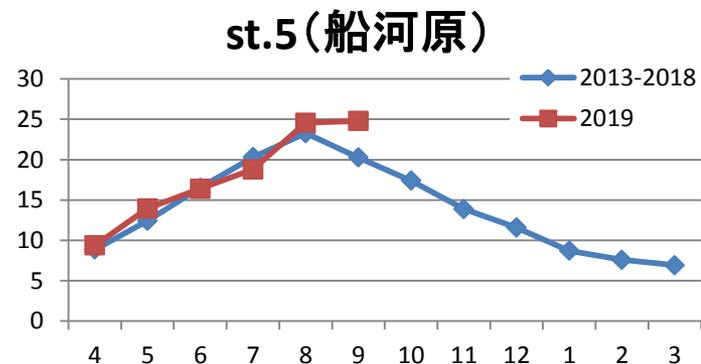
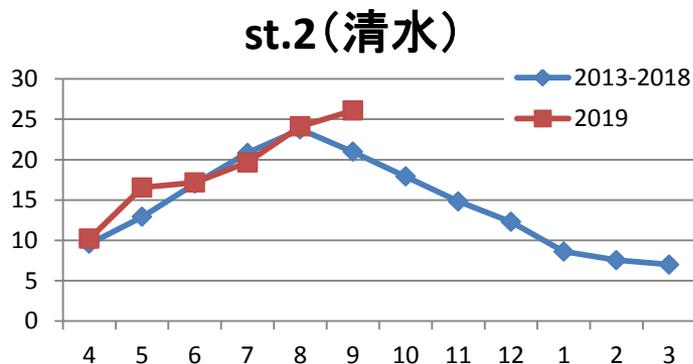
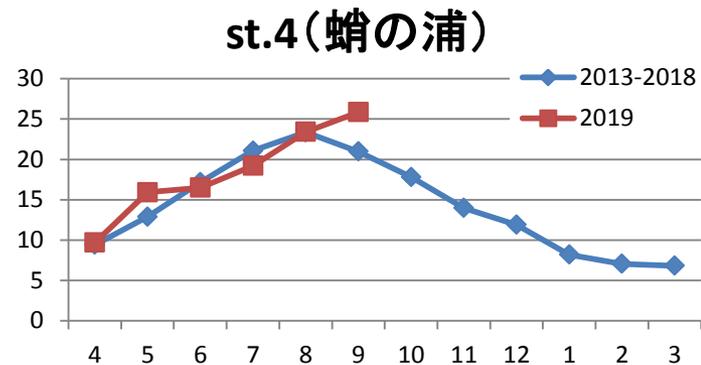
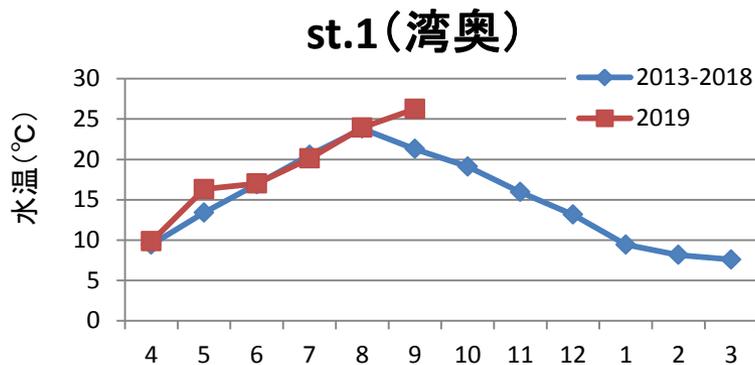


図3 表層の水温の推移

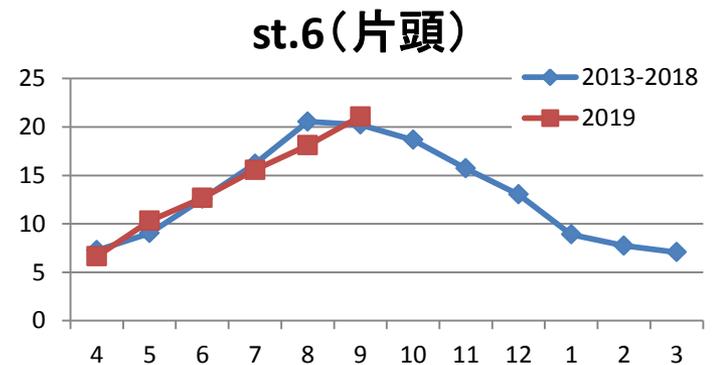
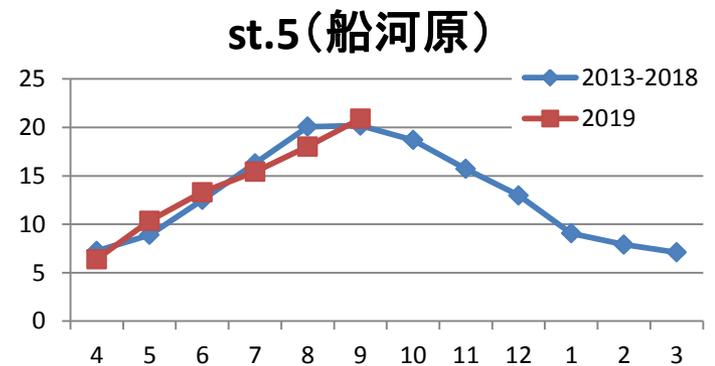
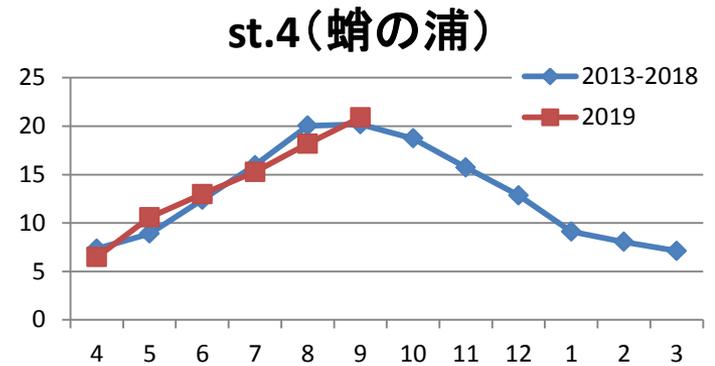
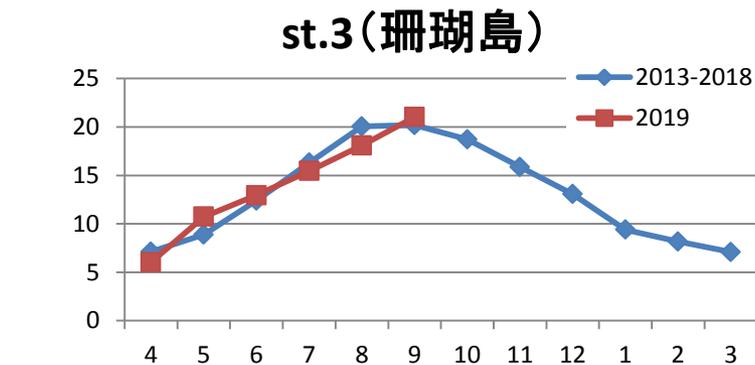
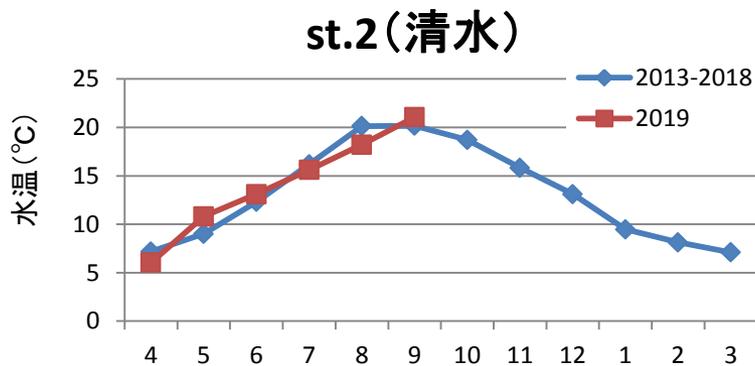


図4 10m層の水温の推移

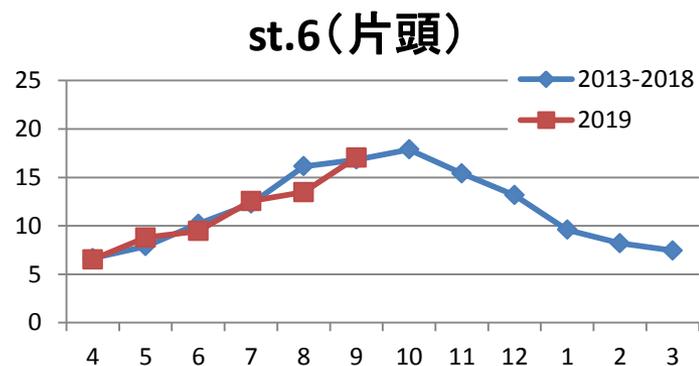
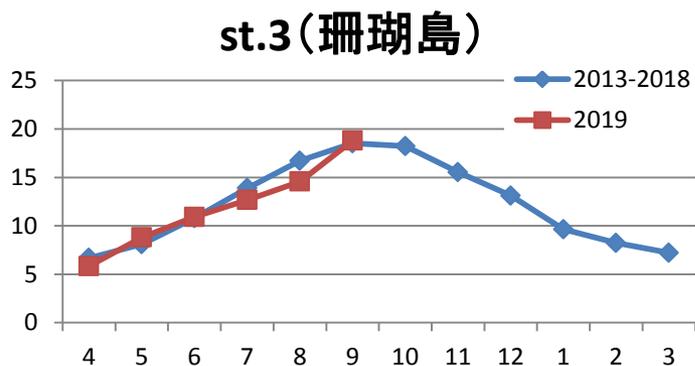
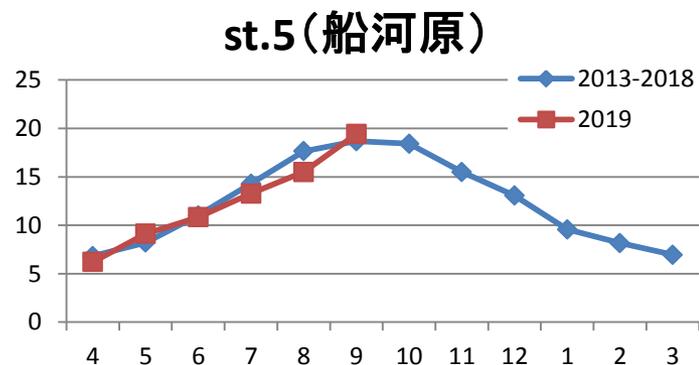
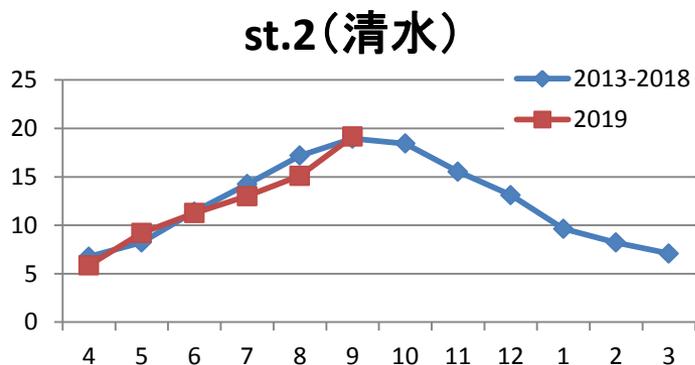
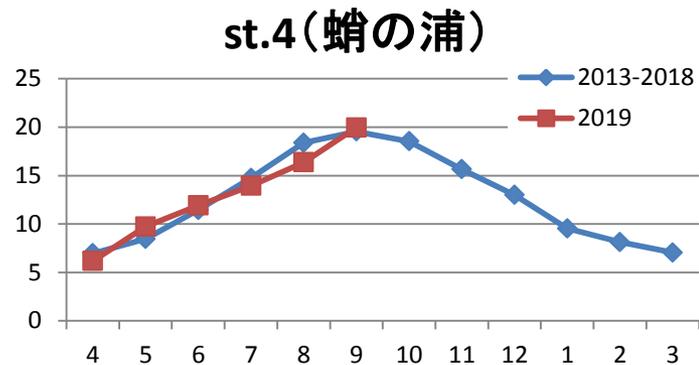
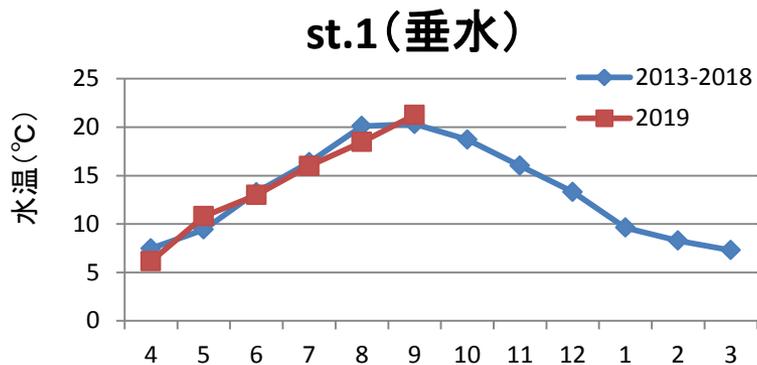


図5 底層の水温の推移

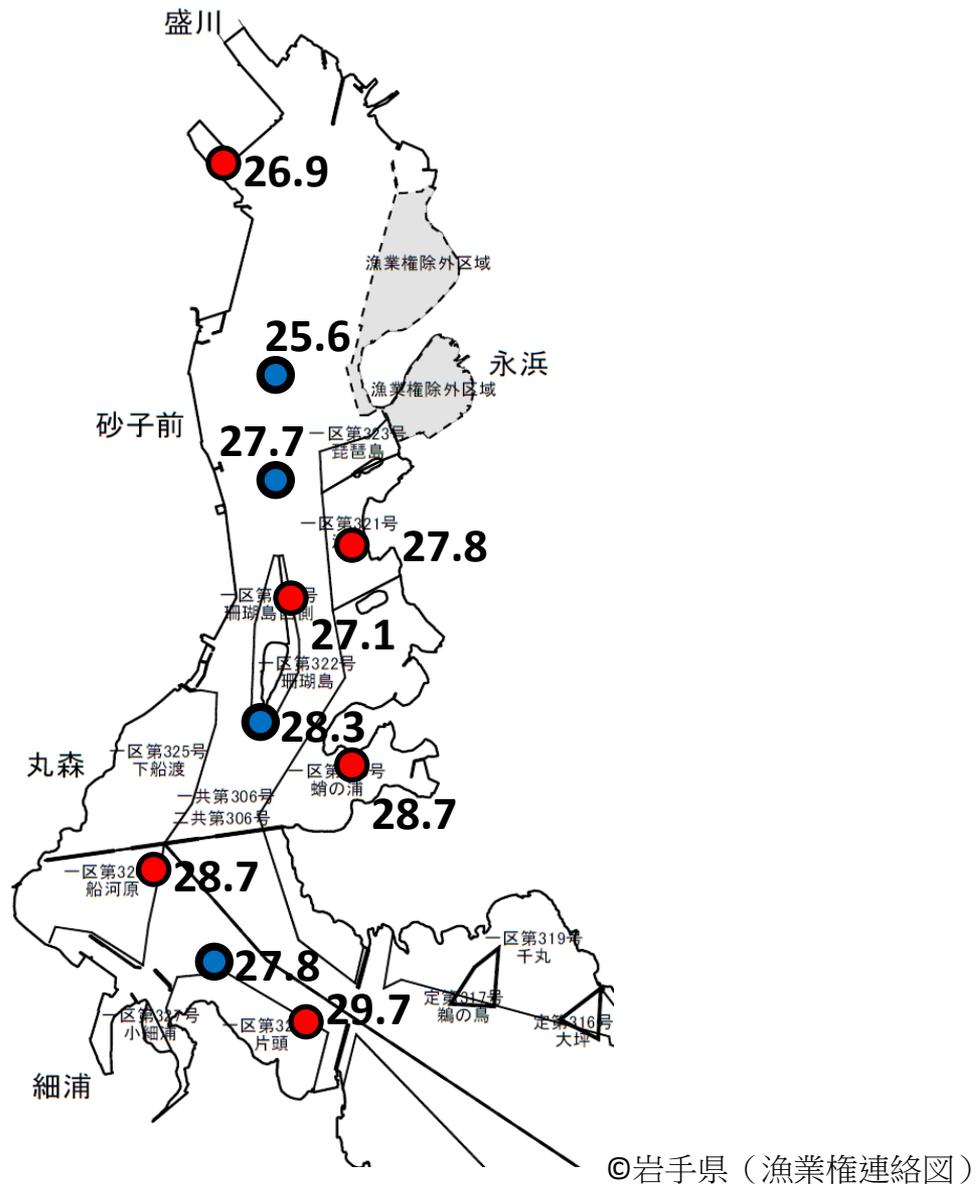


図6 表層の塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の塩分は変化する。